

2006年9月13日  
いすゞ自動車株式会社  
三菱商事株式会社

## ドイツ・オーストリア合弁販売会社設立について

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：井田義則、以下、いすゞ)及び、三菱商事株式会社(本社：東京都千代田区、社長：小島順彦、以下、三菱商事)は、ドイツにいすゞ車両および部品の販売を行う合弁会社、いすゞセールスドイツランド(Isuzu Sales Deutschland GmbH)を設立しました。

同社は欧州でのいすゞ販売ネットワーク強化を目指し、ドイツ、オーストリアにおけるいすゞ車及びその補修部品の輸入販売、サービスの提供を行っていきます。

資本金は300万ユーロ(約4.5億円)で、出資比率はいすゞ20.0%、三菱商事80.0%となります。

いすゞセールスドイツランド(Isuzu Sales Deutschland GmbH)はいすゞベネルクス、いすゞイベリアに続き、欧州市場におけるいすゞと三菱商事による3社目の合弁会社となります。

いすゞは現在推進中の中期経営計画('05年4月～'08年3月)において、いすゞ商用車の海外販売拡大に向け、体制の整備・強化に積極的に取り組んでおります。いすゞと三菱商事は欧州市場における協業の一環としてドイツ・オーストリアにも参入し、欧州市場でのさらなる拡販を目指していきます。いすゞと三菱商事は両社協業の強みである商品力、マーケティングノウハウを活かし、同市場でエルフシリーズ及びピックアップトラック(D-MAX)の拡販を図っていきます。

ドイツ・オーストリア市場はトラックの販売台数が約10万台という大マーケットであり、ベンツ(42%)、マン(23%)、イベコ(11%)等がシェア上位を占めています。内、今回いすゞが参入する小型トラックマーケットは約4万台、ピックアップトラックマーケットは約9,000台となっております。

2007年の販売計画はエルフシリーズが400台、D-MAXが900台ですが、2010年にはエルフシリーズ800台、D-MAX2,300台を計画しています。

なお、エルフシリーズは日本から、D-MAXはタイからそれぞれいすゞセールスドイツランド(Isuzu Sales Deutschland GmbH)が輸入し、現地販売代理店を通じて販売します。

以上

(新合併会社の概要)

会社名	いすゞセールスドイチェランド(Isuzu Sales Deutschland GmbH)
設立	2006年9月(販売開始：2007年1月)
所在地	ドイツ フランクフルト市
資本金	300万ユーロ (4.5億円)
株主	いすゞ20.0%、三菱商事80.0%
主たる業務	ドイツ・オーストリアにおけるいすゞ車両・部品の輸入販売